

地域経済活性化特別枠

草の根技術協力（地域経済活性化特別枠）事業概要

I. 提案事業の概要	
1. 国名	マラウイ
2. 事業名	マラウイ国農業水利人材能力開発支援事業
3. 事業の背景と必要性	宮城県からマラウイ国デッサ州に現職派遣しているJOCVの活動を支援し連携して、2011年度から「農業水利人材育成支援事業」をデッサ州において実施してきた。そこで構築された体制を基礎として、JOCV活動と連携しリロングウェ管区灌漑局の3つの灌漑事務所（以下DIO）に小規模灌漑技術を普及する。
4. プロジェクト目標	デッサDIO、リロングウェDIO、ンチュウDIOの灌漑技術者の小規模灌漑施設の設計（災害復旧、改修設計を含む）及び施工管理に関する技術の習得。農業普及所（EPA）、リロングウェDIO、ンチュウDIOへの技術普及を担うデッサDIO灌漑技術者の能力開発。
5. 対象地域	マラウイ国リロングウェ管区灌漑局（デッサ州他）
6. 受益者層 （人数規模）	リロングウェ管区灌漑局管内の3つのDIO灌漑技術者
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デッサDIO、リロングウェDIO、ンチュウDIOの灌漑技術者が、小規模灌漑施設の設計の現場経験を積む。 2. デッサDIOの灌漑技術者が、施工管理における写真等を活用した資料作成技術を習得する。 3. デッサDIOの灌漑技術者が施設維持管理に関する知識、技術を習得し、EPA、地域住民に対する普及を行う。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1 資材供与とともに、計画～施工～管理の一連の技術について指導を行う。 1-2、2-2、3-2 現地での課題を把握し、その課題を踏まえ、専門家を派遣し技術指導を行う。 1-3、2-3、3-3 技術的課題を把握し、その課題に対応した研修を日本で実施する。 1-4 JOCV活動の中で、現地のフォローアップを行う。 2-1 資料作成に当たり指導を行う。 3-1 施設管理方法について日本の事例を紹介しながら指導を行う。 3-4 現地でワークショップ、巡回指導等を実施する。
8. 実施期間	2014年2月から2017年1月
9. 事業費概算額	51,519千円
10. 事業の実施体制	宮城県
II. 応募団体の概要	
1. 団体名 （提案自治体）	宮城県
2. 対象国との関係、協力実績	2010年から県の農業土木技術者をJOCV現職派遣、2011年度から草の根技術協力事業（地域提案型）「農業水利人材育成支援事業」を実施。